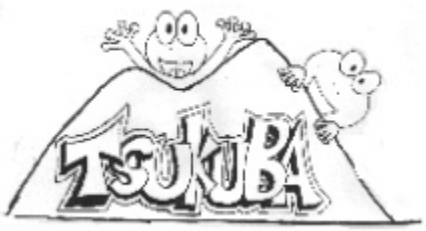
すべての子どもに外国語を学ぶ喜びと平和な未来をひらく力を！
新英語教育研究会　第40回全国大会 筑波山大会）案内
― こだまよ，響け！　筑波（やま）の紫峰（みね）に！ ―

★と　き　２００３年８月１日(金)～８月４日(月)
★ところ　つくばグランドホテル
〒300-4352茨城県つくば市筑波１０５０－１
Tel (029)866-1111　Fax (029)866-0152
★主　催　新英語教育研究会
★後　援　つくば市・つくば市教育委員会
茨城県民間教育団体サークル協議会



記念講演
『国際的視点からみた英語教師のコミュニケーション能力』
＜８月２日（土）11：00～12:30＞

講 師　とりかい　くみこ
鳥飼　玖美子 さん

立教大学大学院　異文化コミュニケーション研究科教授・委員長（英語教育，英語コミュニケーション，通訳論）

◆プロフィール
・上智大学外国語学部卒業
・コロンビア大学大学院修士課程修了

国際会議同時通訳者，東洋英和女学院大学等を経て1997年より立教大学で教鞭をとる。NHK テレビ「英会話」，ラジオ「百万人の英語」講師，日本ユネスコ国内委員会委員。

■主要著作　『異文化をこえる英語』『歴史を変えた誤訳』『プロ英語入門』など多数。

昨年７月に文部科学省から出された「『英語が使える日本人』の育成のための戦略構想」に基づき，今年度から５年間にわたり全中高英語教師全員を対象にした研修が行われるといいます。同構想には「TOEIC 730点程度」といった目標値も示されています。

『TOEFL・TOEIC と日本人の英語力』（講談社現代新書）の中で鳥飼玖美子さんは「外国語で内容のある話をしようと思ったら，体系的な文法知識を応用することは当然である」と語っています。大学在学中に会議通訳の仕事を始め，同時通訳者としてもテレビ・ラジオの英会話番組の講師としても著名な鳥飼さんに，この構想，そして英語教師のコミュニケーション能力をどう考えるかを語っていただきます。

野口雨情　フルートコンサート
＜８月３日（日）12：30～13:30＞

◆つくばフルート合奏団　シリンクス

「シリンクス」は創立１８年，つくば市内の公民館で活動しているアマチュアフルートアンサンブルです。自主コンサートの他，カザルスホールの室内楽フェスティバルやつくば市文化祭などの様々な演奏会に出演。ピッコロからバスフルートまで様々な種類のフルートで美しいハーモニーを奏でます。

今年は野口雨情生誕１２１年目に当たります。分科会の真剣な討論で疲れた頭を，昼食後のひととき，美しい音色でリフレッシュしてください。

文化行事　ドキュメンタリー映画
「住井すゑ～百歳の人間宣言」
＜８月３日（日）19：00～20：30＞

茨城の誇る農民作家で「橋のない川」の作者でも知られる住井すゑさんは，その生涯を通じて差別とたたかい，平和と社会革新を求めて活動をしてきました。新英研京都大会での熱い語りを思い出される方も多いのでは。

映画の中では，親交のあった著名人や家族のコメントで住井さんの人となりが浮き彫りにされていきます。また，９０歳と思えない力強く知性とユーモアにあふれた講演の様子も紹介されます。

これは，２０世紀を生きながら，人間と歴史を壮大な視野で見つめて，その思いを大河小説「橋のない川」に綴ってきた，偉大な文学者・思想家である住井すゑさんの，２１世紀に残したメッセージといえるでしょう。この機会にぜひご覧ください。

40回の大会の蓄積で力をつける大会に！

新英語教育研究会会長　正慶　岩雄

大会参加の皆さんを心から歓迎いたします。

私たち新英語教育研究会は，「すべての子供たちに外国語を学ぶ喜びを」をスローガンに，「楽しくわかる授業」，「人格形成に寄与できる外国語教育」を目指して研究をすすめ，実践し，交流を続けてまいりました。毎年夏，全国の実践を持ち寄ってその深い分析の中から，「子供の心を開く自己表現」「生徒の心を動かす感動教材」など，新しい実践の流れを作り出してきました。大会に集った仲間が，ノウハウと元気を得て各地に戻り，また新しい実践を生み出していきました。各地で行われる例会と全国大会での地道な実践研究の積み重ねが，まさに新英研の歴史なのです。

昨年４月からスタートした「週５日制」「新学習指導要領」の実施，さらには「中学英語週３時間」など，新しい教育の方向性の中で，私たちはともすれば自分たちの本来の実践を見失いがちではないでしょうか。大きく変化する社会や家庭の状況の中で，学習の困難はますます広がっています。教師が様々な工夫をしても，なかなか授業にのってこない，「学習」が成立しないということも指摘されています。

今年の大会は第４０回の記念すべき大会です。今年は特に「新英研講座」を設けて，今までの理論と実践のエッセンスが学べる機会を作りました。現状の厳しさに辟易せず，全国の知恵とアイデアを絞って，お互いの元気を確認し合いましょう。私たちの実践・理論を交流し，「新英研４０余年の歴史と伝統がじっくり学べた」という大会にしましょう。
そして「元気出してがんばろう。」「子供はやっぱりすばらしい。」というこだまの響きあう大会にしましょう。

さわやかに，ゆったり，じっくり語り合って！

現地実行委員長　田添　洋子

８月の筑波山は，風はさわやかで空気はおいしい。見渡す緑一面の関東平野の彼方に光るのは霞ヶ浦？それとも太平洋？早朝なら，運がよければ，富士山が見えるかも？

夏のゆったりとしたひとときを是非ご一緒しましょう。語り合いましょう。関東の平原からみると，紫の峰が美しい筑波山は，縄文時代の昔から祝祭の折々に人々が集った交歓の地。古来よりの集いと宴のこの地で，おたがいの「今まで」と「これから」を語り合いましょう。励まし合いから明日に立ち向かう勇気も元気も生まれます。一人で悩んでいたことも，みんなの知恵で解決できるものです。　新英研４０年の歴史をふまえて，原点に立ち返り，そこから今後の私たちの活動の方向を見定めるこの上ない機会にしましょう。大きなこだまを響かせましょう。

魅力いっぱいの４日間！

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23								
8月1日(金)					受付開始	全国常任委	全国委員会	分科会打合せ		夕食	文化行事①(朗読劇)		新英研講座	大会運営委									
	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22							
8月2日(土)		朝食	受付開始	開会行事	記念講演	昼食移動	分科会Ⅰ				夕食交流	大会運営委	ブロック集会										
	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23						
8月3日(日)		朝食		分科会Ⅱ		昼食(フルートコンサート)	分科会Ⅲ				夕食交流	研究者集団		文化行事②(映画)	新英研総会		大会運営委						
	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18											
8月4日(月)		朝食	朝市・登山	テーマ別分科会		終わりの集い	昼食	総括会議	東アジア英語教育実践交流会														

オープニング
「歌でつづる新英研大会の４０年」
＜8月2日（土）10：20～11：00＞

新英研第１回大会が開かれた１９６４年から現在までを，時代を映す英語の歌とともに振り返ります。「この歌を歌うとあのころを思い出す。」そんな歌が，みなさんだれでもあることでしょう。大きな声を出して，みんなで楽しく大会を始めましょう。

☆ WeShallOvercome
☆ Where Have All the Flowers Gone?
・・・
☆ Imagine
☆ WeAretheWorld
☆ ZeroLandmine
☆ Grandfather'sClock・・・(予定)

おなじみのスタンダードから60,70,80,90年代をたどり，２１世紀へ！あなたは何曲知っているでしょう。大会で覚えた歌を２学期には教室で広めましょう。

文化行事
朗読劇「この子たちの夏」
＜8月1日（金）18：30～20：00＞
明野町市民グループ「はらんきょうの会」

１９８５年，被爆４０年に当たる年に演劇団体「地人会」が始めた朗読劇は広島・長崎の被爆者の手記をもとに編んだものです。平和への願いと生き抜く強さに貫かれた作品は全国で静かな感動を呼び，昨年までに３５０カ所を超える全国の市町村で６００回以上も再演されてきました。

地人会による本公演の感動は全国に自主上演の運動となって広がりました。つくば市のとなり，明野町の「はらんきょうの会」による公演は今年で６度目です。忙しい仕事の合間をやりくりして練習を重ねた社会人，主婦の方はもちろんのこと，公演を見て感動し，「ぜひ私も参加したい」と自ら運動に加わった地元の小中高生もステージから熱いメッセージを届けてくれます。

大会４０年のエッセンスがギュッと詰まった
新英研講座＜8月1日（金）20：00～22：00＞

講座１　*心を開く自己表現を目指して*　◆田中　安行　（白梅学園短期大学）

自己表現作品には子どもたちの姿と心が映し出されています。簡単な1行自己紹介から始まって，英詩，五行詩，1分間スピーチ，つぶやき短歌，英語ハイク，ピースメッセージ，自己表現英会話，英語交換ノートなど実に多彩で創造性に富んだ作品が生まれています。自己表現学習の中で，子どもたちは心を開いて自分の素顔を率直に出すようになります。

心を開くということはコミュニケーションで最も大切なことです。しかし人間はそう簡単に心を開いてはくれません。そこに自己表現指導の苦悩と魅力があります。全国の実践を参考にしていろいろな作品の作り方を体験しながら，どうしたら子どもたちが心を開いて表現するようになるのか考えてみたいと思います。

講座２　*生徒の活動を引き出す楽しい授業*　◆荒木　好枝　（東京都練馬区立北町中学校）

チャイムが鳴り，教室に入る。「今日は何をするんだろう？」期待と好奇心いっぱいで，私を迎えてくれる子どもたち。彼らのきらきらした瞳を見るとき，教師として最高の幸せを感じます。子供たちはいつでも「分かりたい，できるようになりたい。」と思っています。その気持ちを大切に育てていきたい。これこそが教師の使命であり，楽しみではないでしょうか。ちょっとした工夫にも子供たちはアッと驚き，「ウン，わかった！」とうなずきます。そのような楽しい授業を作り出していきたいものです。私の実践は新英研から学んできたことばかりです。わずかでもその一端が，この講座でお伝えできればと思います。

講座３　*英語教師の私の歩み*　◆米蒸　健一（自由の森学園中学・高校）

一英語教師が，新英研と歩んできた道を振り返り，授業・実践・研修などについて語ります。それをたたき台にして，参加者がお互いに学びあえたらいいと考えています。

（1）新英研との出会い(どういうきっかけで新英研を知り，新英研をどう受けとめたか)
（2）所沢英語サークルでの活動(75年に公立中学の教員に)
（3）埼玉新英研と全国大会(何を学んできたか)
（4）自由の森学園で学んだこと(89年に自由の森学園に移り，そこで発見してきたこと)
（5）英語教師の研修(私なりの研修のあり方)
（6）教師のあり方(英語教師の前に，生徒を育てる教員として心がけたいこと)

講座４　心を育てる英文教材の開発　◆安藤　富雄　（日本福祉大学）

英検の取得やTOEIC･TOEFLへの挑戦・海外留学など，英語を学ぶ目的が最近ではずいぶんと実利的なものに様変わりしてきました。一方では英語を読み取る力の著しい低下と，英語嫌いのままで大学に入ってくる学生がますます顕著になっています。新英研運動の特色の一つは，その揺籃期から自主教材を開発してきたことです。そこには外国語教育の目的を，その実用性だけにとどめないで，人間形成にまで広げたいという願いがあります。1980年代の中頃から始まった高校教科書作り「COSMOS」(三友社)は，その具体化にほかなりません。それに最初から関わってきたものとして，生徒の心をとらえ，育んでいく教材作りの話をします。

○○○○○ 実践の力を高める　*10の分科会*　子どもをつかむ ○○○○○

＜8月2日（土）14：00～17：00　3日（日）9：00～12：00，13：30～17：00＞
じっくり討議を重ねて学べるのが分科会です。全国の仲間が実践を持ち寄ります。

第１分科会
教科書・自主教材をどう検討し，扱うか

教科書批判とともに教科書の創造的な扱い方を交流します。また，なぜ自主教材を扱うのか，すぐれた教材とは何なのかを授業をもとに明らかにします。

共同研究者　内野 信幸（日本福祉大学）
レポート　「つながろう，人々と！～草の根のふれあいで本当の英語の力をつける～」
安部（伊東）　直子（東京・中）他２編

第２分科会
読みとりの力をどう高めるか

教材の何をどう読みとらせていくのか，生徒が感動するとはどういうことなのか，優れた教材をどう読み，どう自己表現に発展させるかを明らかにします。

共同研究者　大浦 暁生（元中央大学）
レポート　「同時通訳方式の英語授業」
弘山　貞夫（愛知・高）他２編

第３分科会
英文法をどう考え，どう教えるか

外国語として言葉を学ぶには，文法をきちんと位置づけることが大切。単なる文法知識の詰め込みや暗記ではなく，英文法をどう考え，どう教えるかを探求します。

共同研究者　島津　訓一（西安翻訳学院）
田村　蒸治（東北文化学院専門学校）
レポート　「コミュニケーション活動に生きる文法指導」
菅野　眞智子（福島・中）他２編

第４分科会
音声を重視して，どう教えるか

言語を習得する上で大きな力となる音声を，どうとらえどう教えるかを明らかにします。内容ある教材をもとに，聞き取り・朗読・群読・暗唱・スピーチなどに取り組む活気に満ちた子どもたちの学習活動や実践を出し合います。

共同研究者　浅川　和也（東海学園大学）
レポート　音→文字→単語→文」
森高　省治(兵庫・元中）他２編

第５分科会
どんな学力をめざし，どう評価するか

英語の学力とは何なのか，確かな学力と豊かな人格形成の統一をめざして，授業そのもののあり方や，到達度評価を含め，子どもたちを励ます評価とは何かを話し合います。

共同研究者　一宮　和一郎（相愛大学）
阿原　成光（和光大学）
レポート　「絶対評価『元年を終えて」
平野　寿美（東京・中）他２編

第６分科会
仲間と学び，自ら学ぶ力をどうつけるか

子どもたちに「自ら学ぶ」力をつけることを基本に，みんなで作る英語の授業はどうあるべきか，教材と集団・授業の形態・入門期の指導・教科通信・学校行事と授業の結びつきなども話し合います。

共同研究者　加藤 彰男（群馬県伊勢崎市立伊勢崎高校）
二階堂 次男（福島市立信夫中学校）
レポート　生徒の本物の学習意欲を引き出す授業の工夫」
田中　渡（埼玉・高）他２編

第７分科会
「おくれがちな子」をどう生き生きさせるか

「おくれがち」と思われていた子どもが優れた教材や授業に出会い，自ら学習に立ち上がった例などを学び合いながら，「低学力」の本質と克服の展望を明らかにします。

共同研究者　安藤 富雄（日本福祉大学）
原　夏子（元日本福祉大学）
レポート　英語ギライの生徒たちとの授業をどうつくるか」
萩原　一郎（神奈川・高）他２編

第８分科会
表現力，特に自己表現の力をどう広げ，どう高めるか

「英会話」「英作文」を越えた真のコミュニケーションとは何かを明らかにしつつ，実生活に結びついた真実を語らせる中で，民主的人格と学習集団を育てる自己表現の授業について学び合います。

共同研究者 正慶 岩雄(立正大学)
田中 安行（白梅学園短期大学）他
レポート　「『読む書く』の土台を豊かにする授業づくり」
是恒　真澄（広島・中）他２編

第９分科会
平和・環境・人権教育をどうすすめるか

新英研は一貫して平和の課題を英語教育の目標と内容に位置づけてきました。生徒の心をゆさぶり学習に立ち上がらせ生きることに真剣に目を向けさせる教材と教育方法は何か，真の国際教育とは何かを考えます。

共同研究者　戸田　康（山梨県立石和高校）
濱田　武人（青森県弘前学院聖愛高校）
レポート　外国語教育――それは人格形成と世界平和のために」
岡田　純爾（岡山・高）他２編

第１０分科会
外国人講師との授業

外国人講師との授業のあり方を追求します。教材作り・ティームティーチング・テスト・評価・課外授業などについて総合的に研究・実践を深めます。

共同研究者　安藤　勝夫（福島大学）
瀧口　優（白梅学園短期大学）
レポート　Global Education in English Classes」
辻　圭子（長崎・中）他２編

○○視野を広げる○○　*8つのテーマ別分科会*　○○実践の力を高める○○

＜8月4日（月）　9：00～11：00＞

① **授業に歌を**（ワークショップ）
講師：指田　徹（東京・中）

② **映画や映像を使って**（ワークショップ）
講師：吉浦　潤次（大阪・高）

③ **英語通信と教材づくり**（ワークショップ）
講師：二階堂　次男（福島・中）

④ **小学校と『英会話』**
講師：伊藤　淳（埼玉・小）

⑤ **授業困難に光を当てて**
講師：三浦　芳樹（滋賀・高）

⑥ **不登校・逸脱行為の子どもと関わって**
講師：志賀　伸三郎（つくば子どもと教育相談センター）

⑦ **聴覚障害者向け教材（アメリカ手話）の紹介**（ワークショップ）
講師：松藤　みどり（筑波技術短期大学）

⑧ **韓国・朝鮮の言語と文化**
講師：ＫＥＴＧ(韓国英語教師の会)代表

オプション：東アジア英語教育実践交流会（新英研国際部）

＜8月4日（月）　１４：００～１７：００＞

大会後のオプショナル行事。昨年は日韓英語教育交流としてシンポジウムを行いました。今年は韓国（KETG：韓国英語教師の会代表）や中国（上海中学）からのゲスト（予定）を迎えて、より実践的に、内容のある教材や生徒自己表現作品を持ち寄って話しあいます。
使用言語は英語を用います。大会参加者は参加費無料。交流会のみ参加：2,000円。

＜新英語教育研究会関連・海外研修旅行のご案内＞

「第２回新英研・中国（北京・東北地方）訪問旅行」
期　日：７月21日（月）～27日（日）
費　用：16.5万円　　最低催行：15名
締切り：６月15日
問合せ：奈良 tel/fax:0423447237
email:k.nara187@soleil.ocn.ne.jp
手　配：クラウン観光社
備　考：添乗なし，現地コーディネータ・ガイド

「第３回新英研韓国旅行」
期　日：８月７日（木）～14日（木）
費　用：約12.7万円　　締切り：６月30日
問合せ：菊地 Tel/Fax:0492894878
e-mail:kikuchik@tiu.ac.jp
池田 Tel/fax:0425769239
e-mail:mikeda@k2.dion.ne.jp
手　配：（株）ジャコアンドワールド
（e-mail:tourinfo@jakotour.co.jp 担当：向井）

「第５回フィリピン教育訪問（教材づくりフィールドワーク）」　<新英研協力>/8月中旬予定・調整中
問合せ：淺川 Tel/fax　0488254006
e-mail:kasa@sainet.or.jp

「新英研・日本ベトナム友好協会東京都連合会共催ベトナム旅行」
期　日：８月15日（金）～21日（木）（７日間）
費　用：約21万円（20名以上）
最低催行：15名
締切り：７月10日
担　当：阿原 Tel/fax:0482545074，
e-mail:agyusige@jcom.home.ne.jp
主　催：富士国際旅行社
（榊原 Tel:0333573377，　Fax:0333573317）

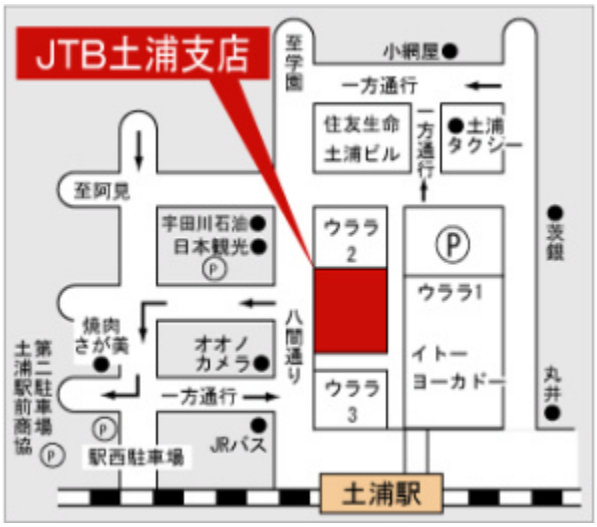
「第６回新英研“杉原千畝・ショパン・ワルシャワゲットー跡を訪ねる”平和の旅 ポーランド・リトアニア（８日間）」
杉原千畝をたたえる会後援
期　日：８月20日（水）～ 27日（金）
費　用：34.5万円　　最低催行：15名
締切り：７月20日
問合せ：安藤　Tel/Fax: 0584741617
e-mail:QWT02054@nifty.ne.jp
取　扱：エルネットトラベル
(Tel:0338891907，Tax:0338891907)

〒300−4352　茨城県つくば市筑波１０５０−１
Tel 0298-66-1111　Fax 0298-66-0152

鉄筋 8階建て全館冷暖房完備
- ●客室５８室
- ●最大収容 350名
- ●大宴会場最大収容 350名
- ●中小宴会場
- ●コーヒーラウンジ
- ●コンベンションホール
- ●大小会議室
- ●売店
- ●ゲームコーナー
- ●大浴場
- ●露天風呂
- ●駐車場　大型バス 10台
  乗用車１００台

JTB For Your Travel & Life 世界をつなぐ旅と心

JTB土浦支店

住所　：〒300-0036　茨城県土浦市大和町9-2　ウララ２ 1階
定休日　：水祝　(12/30〜1/3、5/4は休業。団体は日・祝休業。)

営業時間　：
店頭　　10:00〜18:00
団体　　9:30〜17:30
TEL　国内旅行　　029-824-3949
　　海外旅行　　029-824-3949
　　団体旅行　　029-822-0009
　　JR券　　029-821-5120
　　航空券　　029-821-5120
FAX　029-824-1940
一般旅行業務
取扱主任者　：銭谷 茂